

発言No. 1

受付No. 7

令和8年 6月 8日

10時35分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 21 番 氏名 西 田 清 久

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 超少子化時代の行政施策について

- ① 全国的な合計特殊出生率等の現状から、特に地方の人口減少は避けられない。人口が多かった時代の姿に戻そうとして地域振興、移住促進を図るより、住民のウェルビーイング（幸福感や満足感、充実感といった主観的な感覚を含む身体的、精神的、社会的に良好な状態を指す概念）が保たれる、もしくはより高まる身の丈に合った地域づくりの推進が求められている。今後の公共施設再配置計画についての所見を問う
- ② 少子化によって子ども（学生）の数が減ることは避けられないが、子ども（学生）一人一人が、より質の高い教育サービスを受けることは可能になると思う。様々な制限や課題があると思うが、教育長の所見を問う。

2 浜田市と都市部人材をかきまぜる施策について

(1) 関係人口拡大戦略について

- ① 関係人口創出拡大については現在、戦略設計中と理解しているが、今後の見通しについて問う。
- ② 関係人口から発展して二地域居住がある。都市部からの人材を地域づくりに巻き込む二地域居住促進について市長の所見を問う。
- ③ 浜田を巣立った若者（大学生・高校生等）との良い関係、継続的な接点づくりの手法について所見を問う。

- ④ 関係人口を地域の担い手につなげる仕組みづくりとして、総務省の「ふるさと住民登録制度」を活用し、地域と継続的に関わる人を増やしてはどうか所見を問う。
- ⑤ 石見神楽を創り出したまちとして、石見神楽ファンの全国ネットワークを立ち上げてはどうか所見を問う。